

平成23年8月8日

JISA Awards 2012 応募要領

一般社団法人情報サービス産業協会

1. 「JISA Awards 2012」について

(1) 趣旨

JISAは、構造改革とITイノベーションにより、知識集約型社会を実現し、我が国の国際競争力向上に貢献することにより、業界地位の向上及び業界ブランドの確立を目指していく。

そのためには、JISA 会員各社が切磋琢磨し、独創的かつ国際的に通用する質の高い技術・ノウハウ・製品・ITサービスの創造に鋭意取り組んでいくことが重要になる。

また、JISA 会員各社が経営高度化を図り、マネジメントシステム及び諸制度を改革し、グローバルにその先進性を示すことにより、名実ともに魅力ある産業としての基盤を築いていくことが必要になる。

そこで、「JISA Awards 2012」を新設し、上記取組を奨励・促進するとともに、その成果を業界内外に示すことにより、情報サービス産業の存在感と重要性を広く社会に情報発信していく。

(2) 表彰の内容

独創性¹が高く、国際的に通用するシステム²の創造者（組織、チーム等含）を表彰する。

¹ ここで言う「独創性」とは、(1)部分が既存でアセンブリしたシステム全体が創造であること（改善）、(2)部分もシステム全体も創造であること（改革）、のいずれかを満たすこととする。

² ここで言う「システム」とは、(1)情報通信システム、ソフトウェア、ITサービス、ITプロダクト、及びその開発・運用のための要素技術・業務ノウハウ、管理技法等、情報サービス産業全般で行われる情報システムのライフサイクル全般における生成物及び知的財産・ノウハウ、(2)IT企業の経営全般に亘るマネージメントの仕組み・制度全般とする。

2. 表彰対象

表彰対象は、「顧客に提供する情報サービス」もしくは「IT 企業の経営の仕組み・制度」であり、前者ではビジネスモデル、開発・運用技術・ノウハウ、マネジメントの各側面のいずれか、後者では人事労務、財務、法務、CSR の各側面のいずれか、このなかの少なくとも1つ（複数でも可）に該当するものとする。

表彰対象システム ³	評価の側面		表彰対象者の要件
【A類】 顧客に提供する情報サービス ⁴	(イ)ビジネスモデル	ITを活用したビジネスモデル	1.システムの創造者 又は創造者が所属する 団体・企業であること。 2.システムの創造者が 所属する企業・団体が JISA 会員であること
	(ロ)開発 ⁵ ・運用技術・ ノウハウ	基盤技術、統合技術 業務ノウハウ	
	(ハ)マネジメント	生産管理(標準化等を含む)	
		対顧客関連マネジメント ⁶ 対協力会社関連マネジメント	
【B類】 IT 企業の経営の仕組み・ 制度	(ニ)人事労務	評価システム、給与体系、 教育体系、人材育成、 労使関係等	
	(ホ)財務	経営指標、M&A、 資本政策等	
	(ヘ)法務	コンプライアンス、 知財管理等	
	(ト)CSR	社会貢献、環境問題への 取り組み、広報活動等	

※表彰対象となるシステムの具体例は4ページ参照

3. 応募資格

JISA 会員企業（団体会員傘下企業も含む）

4. 募集期間

2011年8月8日(月)～9月30日(金)

³ 2010年10月1日から2011年9月30日までに顕著な実績・成果を収めたシステム（情報サービス、仕組み・制度等）を対象とする。

⁴ (1)「顧客に提供する情報サービス」には、「情報サービス（情報通信システム、ソフトウェア、ITサービス、ITプロダクツ等）自体」及び「情報サービス提供の仕組み」が含まれる。
(2)表彰対象は、ITサービスや仕組みの「創造者」本人又は「創造者」が所属している企業とする。顧客と主契約の企業が支援した企業かは問わない。

⁵ パッケージを含む

⁶ 「対顧客マネジメント」には、販売管理、契約管理（価格体系、契約体系、変更、検収条件、見積方法等）等が含まれる。

5. 応募方法

(1) 提出する書類

応募の際にご提出いただく書類は以下のとおりです。

(a) JISA Awards 2012 応募シート

別紙の様式に所定事項をご記入下さい。

(b) 添付書類

応募事例の詳細をご説明いただくためのものです。特に様式は設けません。

(2) 書類の提出方法

郵送（宅配便、メール便等を含みます）又は EMAIL

(3) 書類提出先・お問い合わせ先

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1 日東紡ビル9階
一般社団法人情報サービス産業協会 「JISA Awards 2012」事務局
TEL 03-6214-1121 EMAIL awards2012@jisa.or.jp

6. 審査

(1) 体制

審査は、外部有識者の委員長、及び委員数名による「選考委員会」で公正に行う。

※委員長：坂村 健氏（東京大学大学院情報学環 教授）

(2) 手順

① プレゼンテーションによる選考

表彰趣旨、表彰対象、応募資格等の要件を満たす被選考者は選考委員会においてプレゼンテーションを行う。

② 本審査

選考委員会にて総合的な審査を行い、被表彰者を決定する。

7. 審査結果の発表

「JISA Awards 2012」受賞者は、本人に通知するとともにウェブサイトに掲載⁷する。

⁷ 応募書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利などの侵害があると判明した場合など、発表後であっても入賞を取り消し、又は、留保することがある。

8. 授賞式

2012年1月上旬に開催されるJISA 賀詞交歓会にて「JISA Awards 2012」の授賞式を行い、受賞者には「表彰状」を授与する。後日、受賞者の講演を行う。

9. 受賞者・企業の特典⁸

- (1) 「JISA Awards 2012」受賞者・企業は1年間JISAの行事・講演会等で紹介する。
- (2) 「JISA Awards 2012」受賞のロゴマークを使用できる⁹。

10. スケジュール

募集	: 8月8日～9月30日
プレゼンテーション	: 11月下旬
受賞者の決定	: 11月下旬
審査結果発表	: 12月中旬
授賞式	: 1月上旬 (JISA 新年賀詞交歓会)

⁸ その他、副賞が贈呈されます。

⁹ 詳細は6ページ参照

【参考】「JISA Awards 2012」表彰対象の考え方（一例）

※応募が想定される一例として下表をご参考ください。なお、選考にあたっては、あくまでも応募システムの「独創性」及び「国際通用性」を評価いたします。

表彰対象システム	評価の側面		応募が想定される一例	表彰対象者の要件
【A類】 顧客に提供する情報サービス	(イ) ビジネスモデル	IT を活用したビジネスモデル	例ソーシャルネットワーク等に対応した次世代型ビジネスモデルを創造 例デジタルコンテンツ創造のビジネスモデル等を創造	1.システムの創造者又は創造者が所属する団体・企業であること。 2.システムの創造者が所属する企業・団体が JISA 会員であること
	(ロ) 開発・運用技術・ノウハウ	基盤技術、統合技術	例複数 IT サービスを統合(クラウドメーカ等)する基盤技術及び統合技術等を創造 例スマートコミュニティを実現するための統合技術及び最適化技術等を創造 例国際基準を上回る耐震・セキュリティ技術等を盛り込んだデータセンターによるサービス等を創造	
		業務ノウハウ	例特定分野の業務ノウハウ等の他分野への新規転用	
	(ハ) マネジメント	生産管理(標準化等を含む)	例全社レベルの定量管理による最高水準の生産管理を実現	
		対顧客関連マネジメント	例新たな契約方式(PBC 等)等の創造・実践 例顧客との戦略的かつ対等なパートナーシップ関係の実現 例仕様変更に係る新たな管理手法等の確立・実践	
		対協力会社関連マネジメント	例強みによる水平分業体制の実現	
【B類】 IT 企業の経営の仕組み・制度	(ニ) 人事労務	評価システム、給与体系、教育体系、人材育成、労使関係等	例オープン(評価基準、プロセス等)な人事評価制度等の創造 例グローバル基準の先進的な就労環境等の実現	
	(ホ)財務	経営指標、M&A、資本政策等	例株主重視の経営等の実践 例海外市場の開拓での実績(M&A 含)	
	(ヘ)法務	コンプライアンス、知財管理等	例業界の取引高度化への課題解決等の貢献 例知財戦略による知識集約型経営の実現	
	(ト)CSR	社会貢献、環境問題への取り組み、広報活動等	例環境問題への貢献 例社会における情報教育への貢献 例震災復興及び新たな社会形成への貢献	

【参考】「JISA Awards」ロゴマーク〈ホルスの眼〉



■デザインコンセプト

ホルスとは、エジプト神話に登場する最も偉大な天空と太陽の神の名称であり、王のシンボルとも言われています。エジプトの神々の中で最も古く、最も多様化した神としても知られています。

本案のモチーフとなる“ホルスの眼”は、時代の流れに合わせ柔軟に変化、再構築されていくホルス神の多様性、拡張性に、テクノロジーの変遷を重ね合わせイメージされています。さらに、ホルスは幼児神と“太陽の子供”の要素を持つと言われており、「JISA Awards」が革新的な創造を見守るとのメッセージをデザインに込めています。また、眼球に地球をシンボリックにデザインすることにより、「JISA Awards」が国際通用性を評価するものであることを表現しています。